

2015年3月期 第1四半期決算説明会



スズキ株式会社
2014.8.1

・増収増益

(億円)

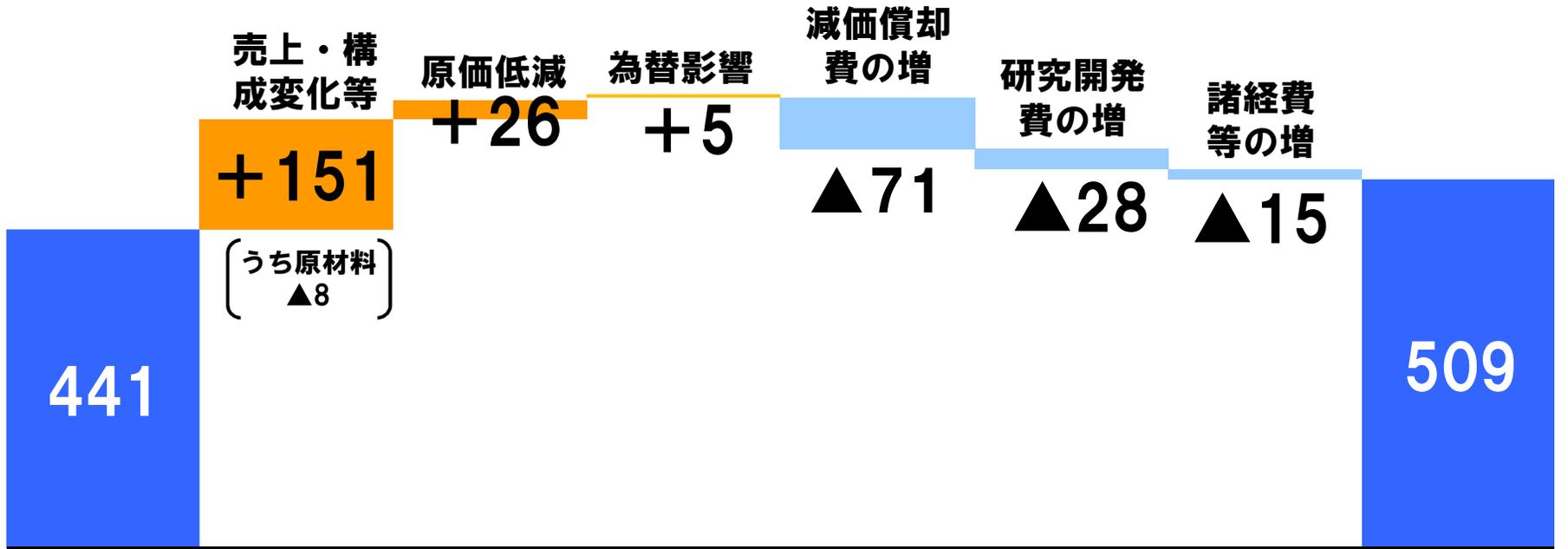
	当第1四半期 (’14/4-6)	前年同期 (’13/4-6)	増 減	
			増 減	増減率
売上高	7,104	6,758	+346	+5.1%
国内売上	2,560	2,402	+158	+6.6%
自 社	2,217	2,160	+57	+2.6%
OEM	343	242	+101	+41.9%
海外売上	4,544	4,356	+188	+4.3%
営業利益 (利益率)	509 (7.2%)	441 (6.5%)	+68	+15.5%
経常利益 (利益率)	593 (8.3%)	472 (7.0%)	+121	+25.7%
四半期純利益 (利益率)	375 (5.3%)	270 (4.0%)	+105	+38.8%

(億円)

	二輪			四輪			特機等			合計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	56	58	▲2	2,461	2,300	+161	43	44	▲1	2,560	2,402	+158	
自社	56	58	▲2	2,118	2,058	+60	43	44	▲1	2,217	2,160	+57	
OEM				343	242	+101				343	242	+101	
海外計	600	647	▲47	3,829	3,608	+221	115	101	+14	4,544	4,356	+188	▲24
欧州	119	126	▲7	830	646	+184	45	30	+15	994	802	+192	+106
北米	119	131	▲12	13	28	▲15	49	51	▲2	181	210	▲29	+5
アジア	256	297	▲41	2,507	2,528	▲21	6	7	▲1	2,769	2,832	▲63	▲143
その他	106	93	+13	479	406	+73	15	13	+2	600	512	+88	+8
総合計	656	705	▲49	6,290	5,908	+382	158	145	+13	7,104	6,758	+346	▲24
内、為替 換算影響			▲1			▲27			+4			▲24	

※当期・・・2014年4～6月期、前期・・・2013年4～6月期

(億円)



前年同期
営業利益

当第1四半期
営業利益

増益要因 +182

減益要因 ▲114

営業利益 +68

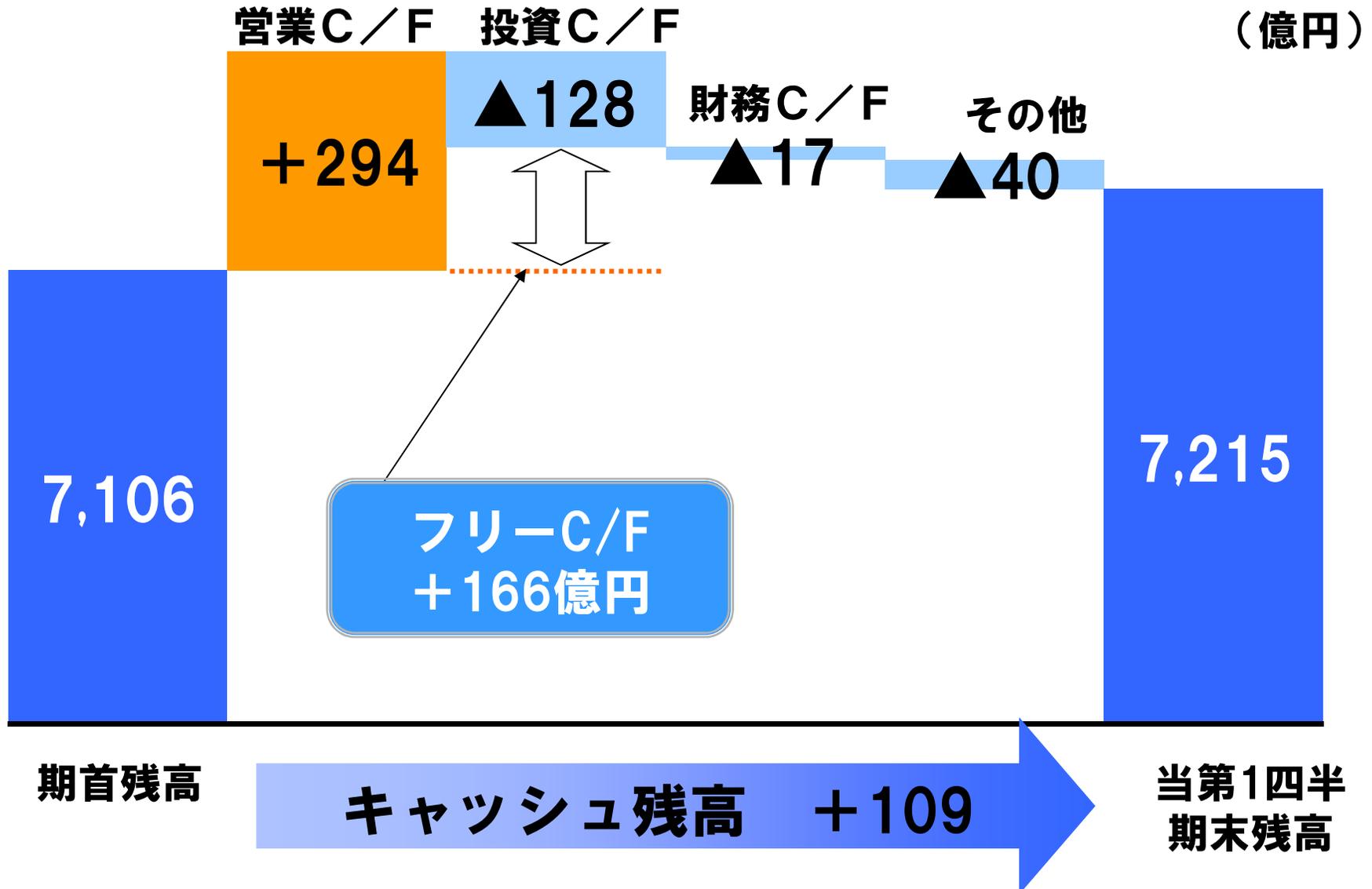
	当第1四半期 (’14/4-6)	前 期 (’13/4-6)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	102円	99円	+3円	+3億円
ユーロ	140円	129円	+11円	+21億円
インドルピー	1.72円	1.79円	▲0.07円	▲11億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.88円	1.02円	▲0.14円	▲14億円
タイバーツ	3.15円	3.16円	▲0.01円	▲0億円
その他	—	—	—	+6億円
計				+5億円

連結：設備投資、減価償却費、 研究開発費、及び有利子負債残高

(億円)

	当第1四半期 ('14/4-6)	前 期 ('13/4-6)	増 減
(当社単独)	92	95	▲3
(子会社)	334	321	+13
設備投資	426	416	+10
減価償却費	309	238	+71
研究開発費	280	252	+28

	当第1四半期末 ('14/6末)	前年同期末		前期末	
		('13/6末)	増 減	('14/3末)	増 減
有利子負債残高	4,433	4,313	+120	4,453	▲20



連結：事業別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

《二輪》

《四輪》

《特機等》

売上高

前期

当期

営業利益

前期

当期



売上高
+382 (+6.5%)

5,908 6,290

営業利益
+25 (+5.8%)

448 473

前期 当期

売上高
+13 (+8.4%)

145 158

営業利益
+6 (+31.8%)

20 26

前期 当期

- 船外機の世界累計生産台数が1965年以来、49年で300万台を達成
- 豊川工場(中・大型船外機)とタイ工場(小・中型船外機)で生産
- スズキ船外機は、NMMA(アメリカマリン工業会)の「技術革新賞」を過去7回受賞。船外機技術に革新をもたらす。
- 高い技術による高品質と耐久性、軽量・コンパクトで優れた使い勝手により、日本だけでなく、海外144の国・地域のお客様にご愛顧いただいている。



(ご参考)2014年6月、新型4ストローク船外機DF200A/200APを発表

- 概要
 - ・軽量、低燃費を実現した新型4ストローク船外機
 - ・「DF175」の2,867cm³直列4気筒エンジンをベースに新開発
 - ・直列4気筒エンジン採用による軽量化、リーンバーンシステム採用による低燃費化を実現
 - ・操作系を機械式ケーブルから電子制御方式に変更、「スズキ・セレクトティブ・ローテーション」を採用*
 - ・現行のV型6気筒エンジン「DF200」147kW(200PS)に追加することで、船外機ラインアップを充実化
- 生産、販売
 - ・「DF200A」は2014年10月、「DF200AP」は2015年2月より、豊川工場で生産
 - ・欧米を中心とする全世界で順次販売を開始

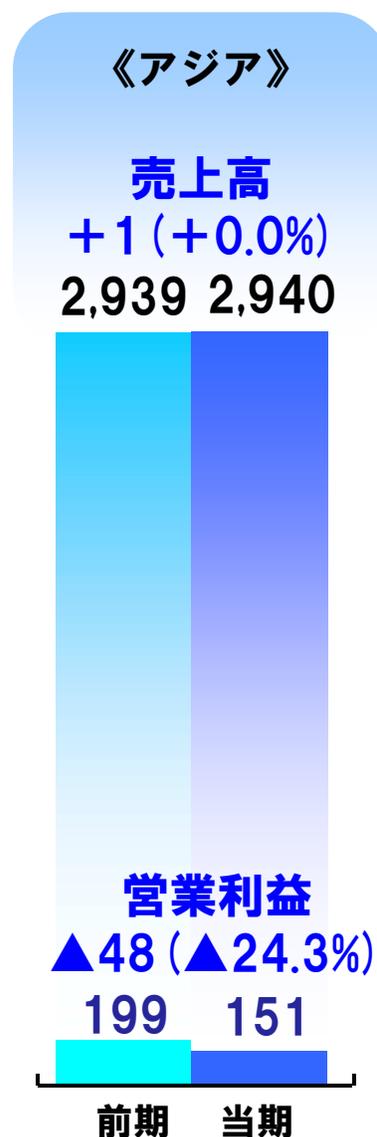
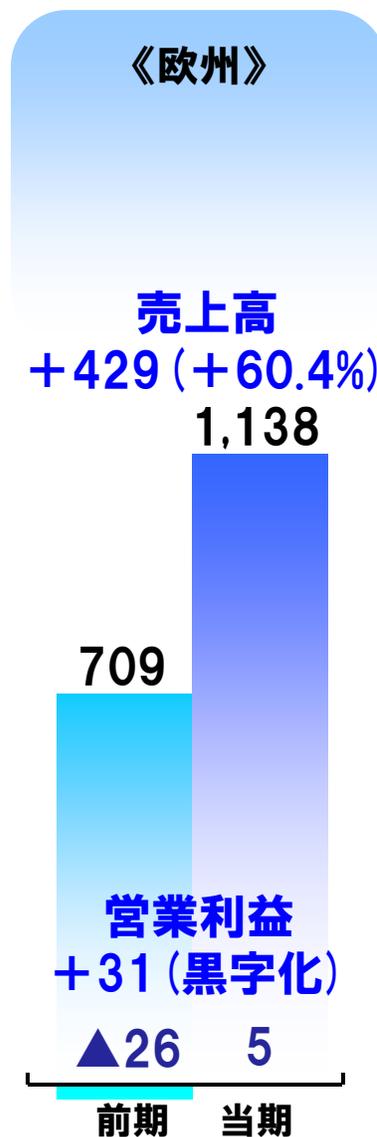
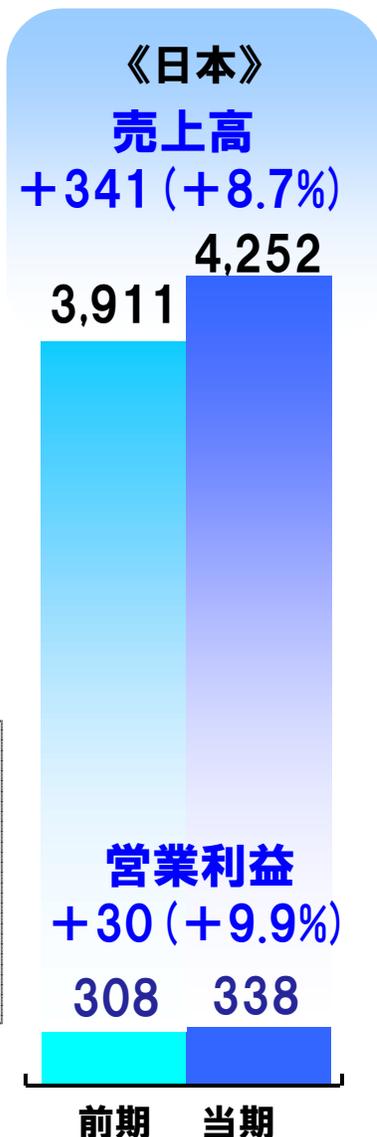
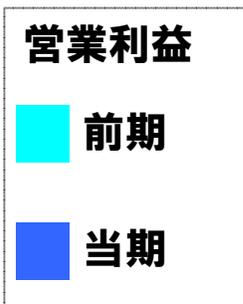
※世界で初めてプロペラの正/逆回転を統合した画期的な技術



DF200A

連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)

(億円)



※当期・・・2014年4～6月期、前期・・・2013年4～6月期

	当第1四半期末 (’14/6末)	前年同期末		前期末	
		(’13/6末)	増減	(’14/3末)	増減
連結 子会社数	133社	135社	▲2社	133社	±0社
持分法適用 関連会社数	37社	37社	±0社	37社	±0社
従業員数	57,782人	56,959人	+823人	57,749人	+33人

（5月9日公表から変更なし）

（億円）

	通期予想	前期比較		上期予想
		前期実績	増減	
売上高	30,000	29,383	+617	14,000
営業利益	1,880	1,877	+3	910
経常利益	1,980	1,978	+2	930
当期純利益	1,150	1,075	+75	550
増減要因	為替影響	▲90	+543	
	原価低減	+250	+252	
	諸経費等の増	▲80	▲529	
	減価償却費の増	▲80	▲235	
	研究開発費の増	▲30	▲78	
	売上・構成変化等	+33	+478	
	計	+3	+431	
設備投資	2,300	2,136	+164	
減価償却費	1,250	1,172	+78	
研究開発費	1,300	1,271	+29	

連結：通期予想 (為替レート前提)

(5月9日公表から変更なし)

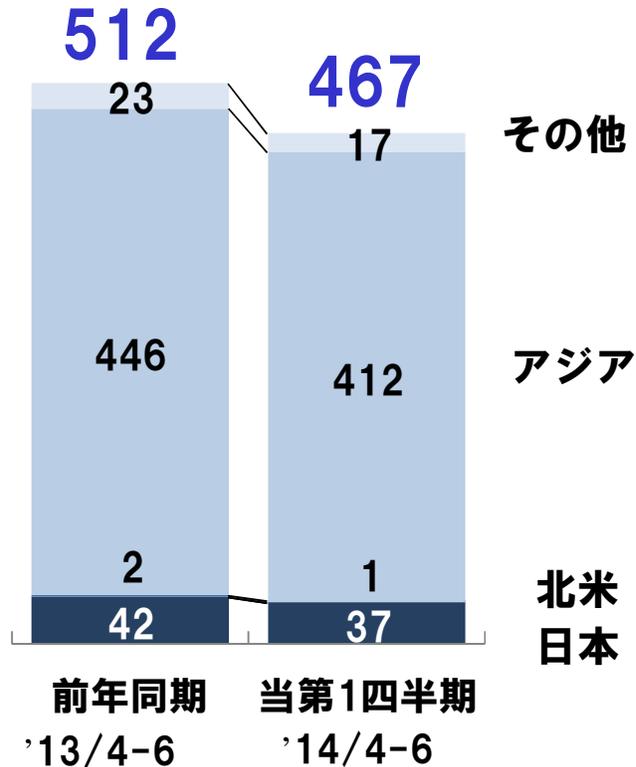
	通期予想 (2014.4～ 2015.3)	為替影響	前期比較 (2013.4～2014.3)	
			通期実績	増減
米ドル	100円	▲2億円	100円	▲0円
ユーロ	135円	+4億円	134円	+1円
インドルピー	1.65円	▲21億円	1.68円	▲0.03円
インドネシアルピア※ (100ルピア当り)	0.85円	▲38億円	0.93円	▲0.08円
タイバーツ	3.10円	▲5億円	3.18円	▲0.08円
	その他通貨	▲28億円		
	為替影響額 計	▲90億円		

※インドネシアルピアは100ルピア当りのレート

(千台)

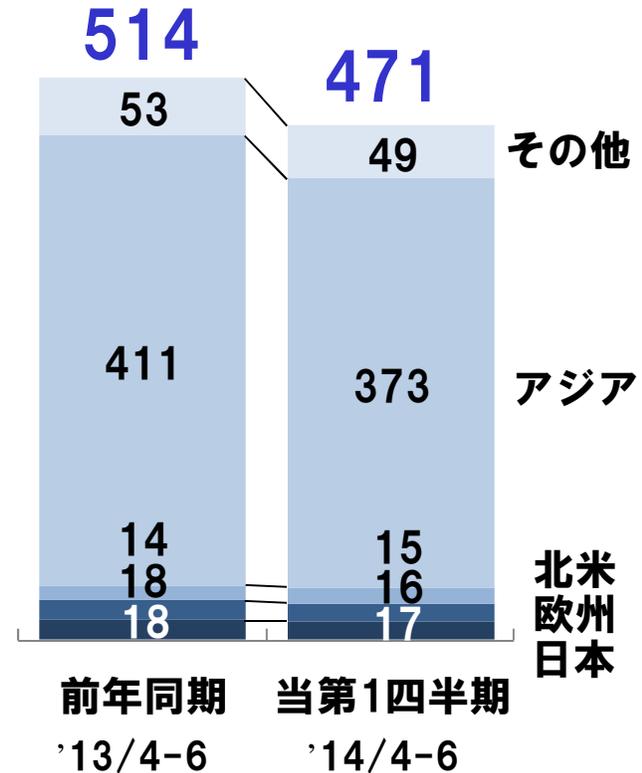
《第1四半期 生産台数》

▲45千台(▲8.7%)



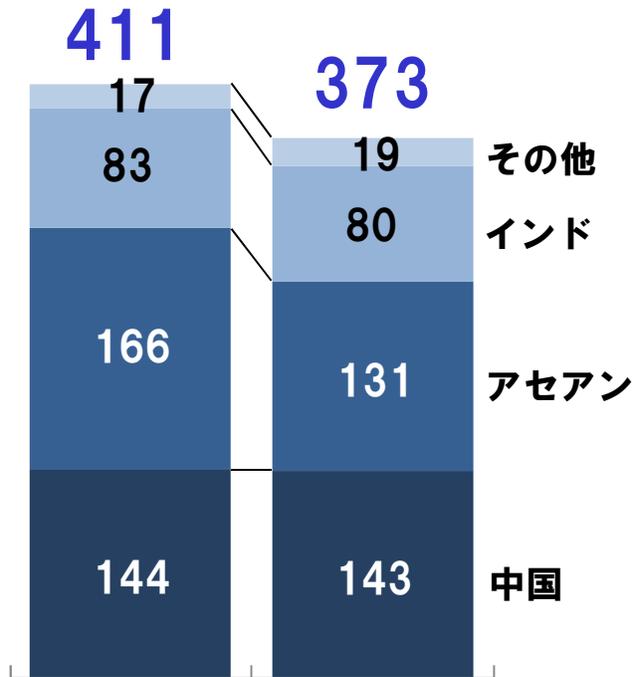
《第1四半期 販売台数》

▲43千台(▲8.3%)



《第1四半期実績》

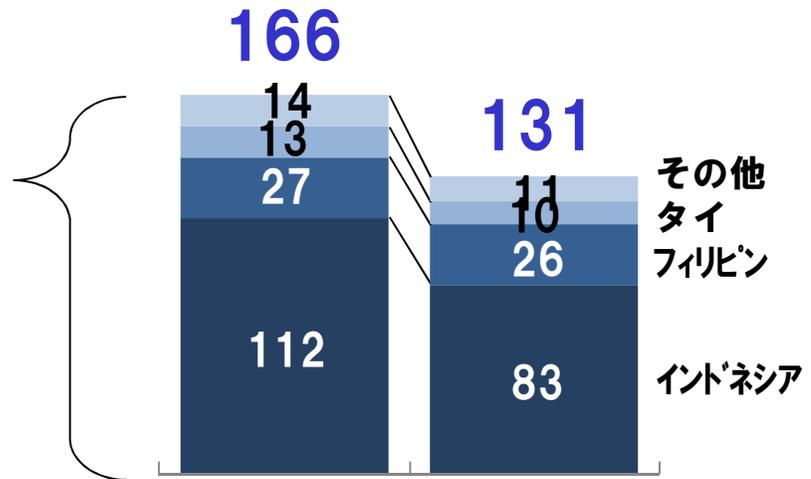
▲38千台(▲9.2%)



前年同期 '13/4-6 当第1四半期 '14/4-6

《アセアンの内訳》

▲35千台(▲21.1%)

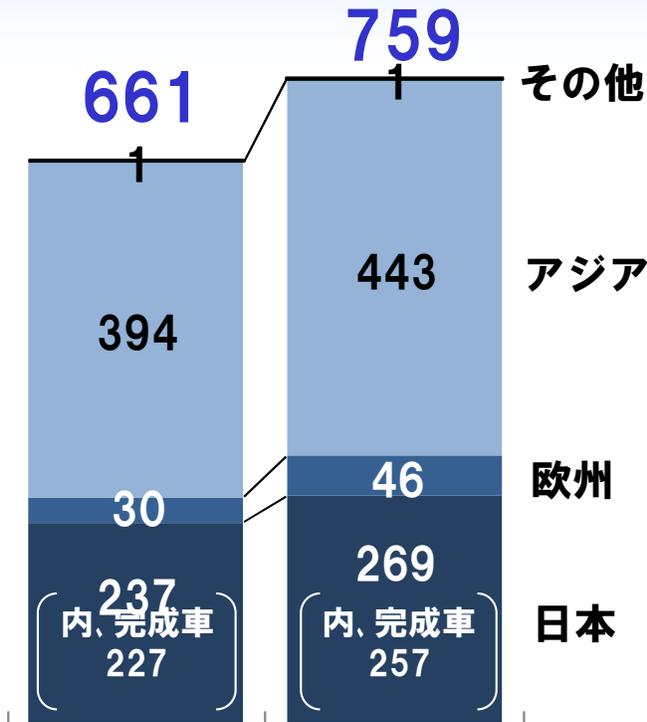


前年同期 '13/4-6 当第1四半期 '14/4-6

※アセアン：インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム 5ヶ国合計

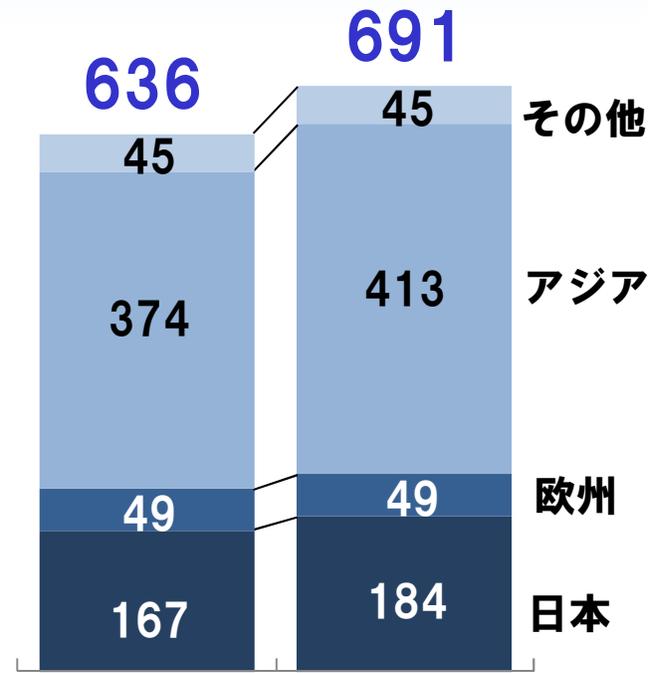
(千台)

《第1四半期 生産台数》
+97千台(+14.7%)



前年同期 '13/4-6 当第1四半期 '14/4-6

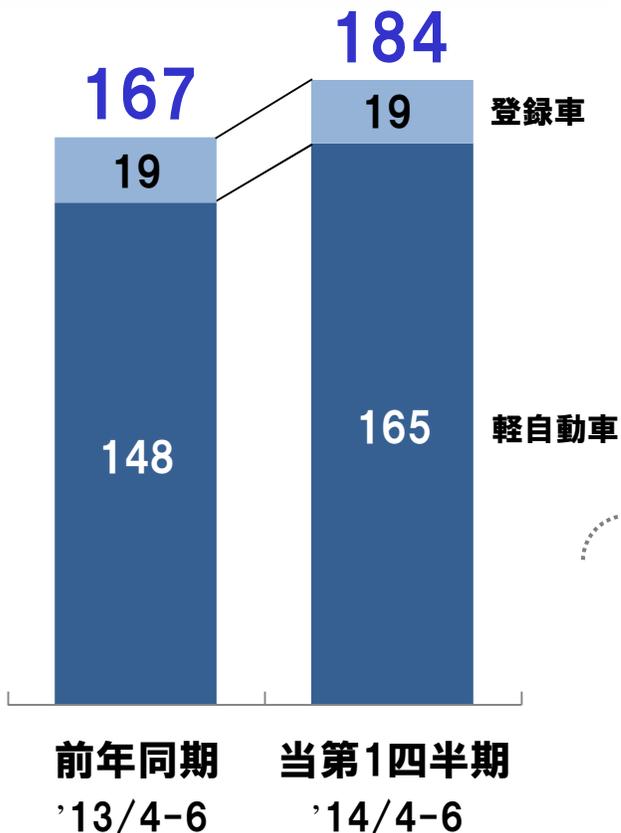
《第1四半期 販売台数》
+55千台(+8.6%)



前年同期 '13/4-6 当第1四半期 '14/4-6

《第1四半期実績》

+17千台(+10.0%)
(千台)



ハスラー

- ・軽ワゴンとSUVを融合させた軽クロスオーバー
- ・2トーンカラー車も人気



スペーシア カスタム XS LIMITED

- ・外観デザインの存在感を高めるブラックメッキのフロントグリルとヘッドランプ、ブラック塗装のアルミホイールやLEDイルミネーション採用
- ・ブラック2トーンルーフ仕様車も設定。精悍な印象をさらに際立たせた。

スイフト スタイル

- ・専用メッキフロントグリル、切削加工とブラック塗装を施した16インチアルミホイールを装着し、スイフトの存在感を高める外観デザインを採用
- ・2トーンルーフ仕様車も設定



《第1四半期実績》
+25千台(+10.3%)

34%
ディーゼル車割合
32%
(千台)

245

271

ガソリン車

162

185

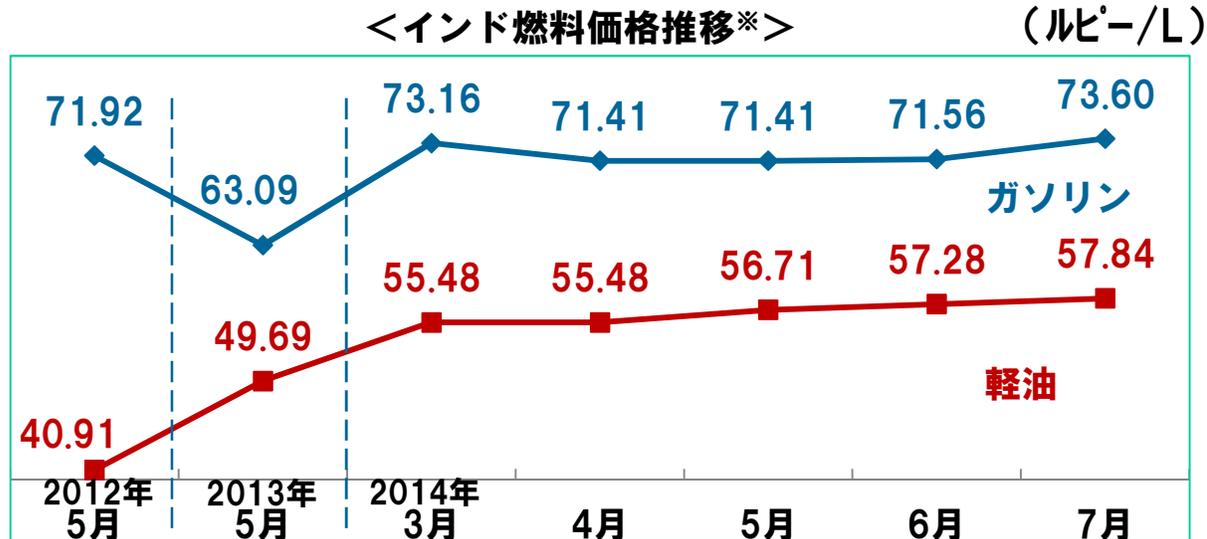
ディーゼル車

84

86

前年同期
'13/4-6

当第1四半期
'14/4-6

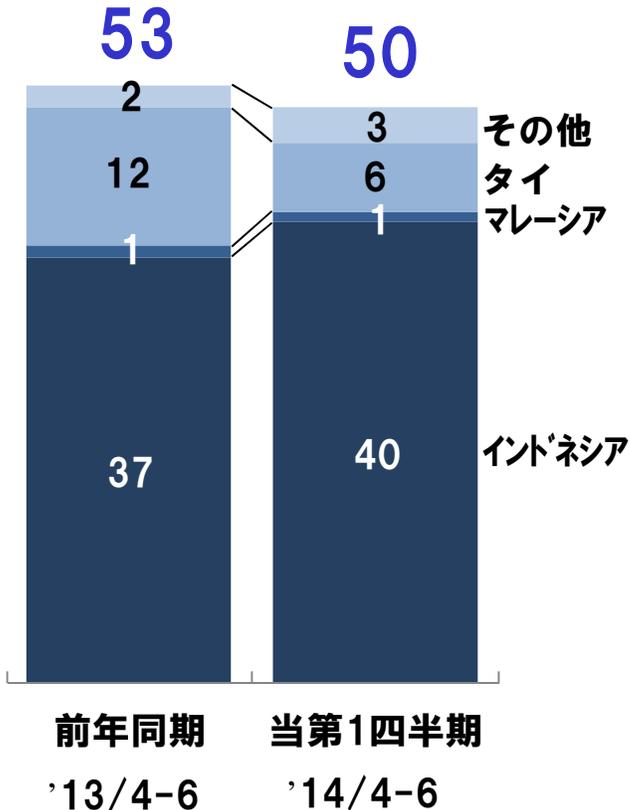


※ニューデリー価格(2014年7月は28日現在の価格)

《第1四半期実績》

▲3千台(▲5.5%)

(千台)



Celerio (Thailand)

- ・5月からタイで生産、販売開始
- ・コンパクトな車体ながら広い室内空間と荷室容量
- ・開放感のあるインテリアとエクステリアデザイン
- ・タイ政府推進のエコカープロジェクト適合車の燃費条件である5L/100kmを達成

WagonR (Indonesia)

- ・インドネシア政府のLCGC (Low Cost Green Car) 政策に適應した低燃費の1000cc5人乗り乗用車



(5月9日公表から変更なし)

(千台)

通期生産台数

通期販売台数

予想 (14年度)	前期実績		
	(13年度)	増減	増減率

予想 (14年度)	前期実績		
	(13年度)	増減	増減率

<二輪車>

	予想 (14年度)	(13年度)	増減	増減率
日本	164	180	▲16	-9.1%
欧州	—	—	—	—
北米	6	5	+1	+10.0%
アジア	1,843	1,744	+99	+5.7%
その他	94	103	▲9	▲8.6%
合計	2,107	2,032	+74	+3.7%

	予想 (14年度)	(13年度)	増減	増減率
	75	74	+1	+1.5%
	49	48	+1	+2.4%
	45	41	+4	+9.3%
	1,731	1,638	+93	+5.7%
	213	227	▲14	▲6.1%
	2,113	2,028	+85	+4.2%

<四輪車>

	予想 (14年度)	(13年度)	増減	増減率
日本	989	998	▲9	▲0.9%
欧州	151	171	▲20	▲11.9%
アジア	1,791	1,686	+105	+6.3%
その他	2	2	+0	+6.7%
合計	2,933	2,857	+76	+2.7%

	予想 (14年度)	(13年度)	増減	増減率
	675	728	▲53	▲7.3%
	208	205	+3	+1.6%
	1,690	1,596	+94	+5.9%
	183	180	+3	+1.5%
	2,756	2,709	+47	+1.7%

2015年3月期 第1四半期決算説明会



スズキ株式会社

将来予想に関する注意事項

- ※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- ※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。
- ※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。